財務指標の例⑬

有形固定資産回転率

2024 年度の有形固定資産回転率（全産業・全規模）は 3.30 回
※製造業（全規模）4.26 回、非製造業（全規模）3.04 回

（１）財務指標の説明

有形固定資産回転率とは、売上高と有形固定資産の比率を言い、企業の所有する有形固定資産がどれだけ有効活用されているかを計る尺度です。

有形固定資産回転率が高い場合は、一般的に有形固定資産が効率的に使用されており、収益性の向上につながると言われています。ただし、例えば、企業が将来における事業の展望を見据え、一時的に多額の設備投資を行った結果、有形固定資産が増加することで、その期の有形固定資産回転率が低下することも考えられます。その場合、当該期の有形固定資産回転率の低下がそのまま収益性の低下につながるとは限らないということに注意が必要です。

有形固定資産回転率(回)

$$= \frac{\text{売上高}}{\text{有形固定資産(建設仮勘定を除く)} * [\text{期首・期末平均}]}$$

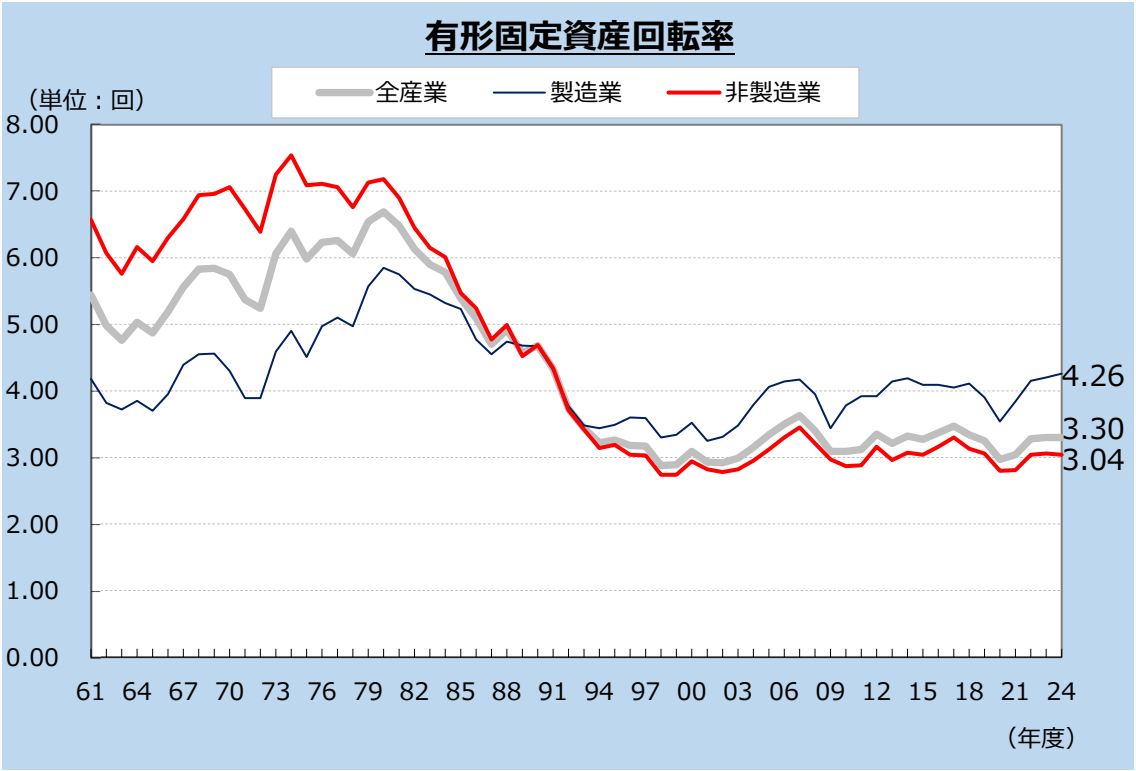
（*有形固定資産（建設仮勘定を除く）＝土地＋その他の有形固定資産）

貸借対照表

資産の部	負債の部
Ⅰ　流動資産	Ⅰ　流動負債
Ⅱ　固定資産	Ⅱ　固定負債
土地	
その他有形固定資産	純資産の部
Ⅲ　繰延資産	Ⅰ　株主資本
	Ⅱ　評価・換算差額等
	Ⅲ　新株予約権
資産合計	総資本（負債・純資産合計）

損益計算書

Ⅰ	**売上高**
Ⅱ	売上原価
	売上総利益
Ⅲ	販管費
	営業利益
Ⅳ	営業外損益
	経常利益
Ⅴ	特別損益
	税引前当期純利益
Ⅵ	法人税等
	当期純利益

（２）グラフで見る最近の動き

２０２４年度は、製造業では売上高の対前年度増加率が有形固定資産（建設仮勘定を除く）の増加率を上回ったことから有形固定資産回転率は前年度比で上昇している一方、非製造業では売上高の対前年度増加率が有形固定資産（建設仮勘定を除く）の増加率を下回ったことから有形固定資産回転率は前年度比で低下しており、全産業で見た有形固定資産回転率は前年度より横ばいで推移しています。